

須藤泰一郎 すどう たいいちろう 歌人。明治二十一年四月二十一日群馬縣勢多郡粕川村生れ、昭和八年八月四日没（八十九一九三三）。筆名碧山、足良庵、須藤みどり、須藤美登里等。農事の傍ら、菊唯二郎（藤岡林城）と共に歌誌『心の花』、『アララビ』等の短歌を掲載。大正四年『水鏡』同人、九年『霸王樹』同人、昭和七年『アララビ』の轉じ上屋文明の節事。死の前月、キリスト教の洗禮を受く。〈群馬歌壇草分けの第一人者〉（赤木馬彦）と曰ふ。

歌集『瑞垣』みずかき（昭和四年四月一日霸王樹社「霸王樹叢書」。普及版。三十二年九月十五日群馬・瑞垣発行所）。大井忠夫他『泰一郎』より・雅休『昭和五十五年七月十日群馬・みやま文庫』が知らる。

